

講師名		講義タイトル	講義内容	研究分野
教授	石原 慎士	産学・異業種連携による地域性を生かした商品開発について	消費市場の成熟化や海外製品との競争によって、「良いモノ」をつくっても売れない時代になりました。本講義では石巻地域における産学・異業種連携による商品開発事業について例示しながら、地方都市における地域性を生かした商品開発のあり方について説明します。	商学 経営学
		地域ブランドの構築に向けた地域マーケティングの方策について	近年、地域ブランドの構築を試みる地域が増えてきました。しかし、期待していたような成果が見いだせず、事業が衰退してしまうという事例も散見されます。本講義では、現代的なブランドの概念を踏まえながら地域ブランドの構築手法や地域マーケティングの方策について説明します。	
教授	市野澤 潤平	南の楽園で働くということ: タイにおける日本人観光ダイビング・ガイドの職業生活	グローバリゼーションが進行する今日の世界において、海外で働くのは、決して特別なことではありません。本講義では、タイのプーケット島を主な事例として取り上げながら、海外のリゾート観光地で働く日本の若者達が直面する、楽しくも厳しい現実を、紹介します。	観光学 文化人類学
		商品化されたエスニシティ: 台湾におけるタイ料理店の歴史と現状	本授業では、台湾におけるタイ料理店を事例として取り上げ、「民族」に固有のものであるはずの「文化」が、市場で売買される商品となっている現状について、考察します。	
教授	大谷 尚之	「キットカット」から考えるマーケティング	ネスレ社の「キットカット」は受験のお守りとしても有名です。でも、モノとしてのキットカットはチョコレート菓みに過ぎません。なぜキットカットは受験のお守りになったのでしょうか。この講義では、顧客ターゲットの拡大という最近の動きも踏まえながら、ネスレ社によるキットカットのマーケティング戦略について考えます。	商学 農業経済学
		宇都宮はなぜ「餃子のまち」になったのか	栃木県宇都宮市は「餃子のまち」として知られています。しかし、1990年代の初めまでは、地元の人ですら、餃子が宇都宮の名物だとは考えていませんでした。この講義では、市の職員が餃子によるまちおこしを提案し、「餃子のまち」へと成長するまでの過程を地域ブランドづくりの観点から考えます。	
教授	マーク・ヘレガソン	ビジネスの世界であなたらしい名刺を	名刺はどれも同じに見えます。白いカードに会社のロゴと会社名、それからもちろんあなたの名前。果たしてそんな名刺に効果はあるのでしょうか。クリエイティブな名刺、自分だけの名刺を作りましょう。また、ビジネスの世界で光る自己紹介についても学びます。	英語学
		パワーポーズ: 役立つかな?	あなたは自分の気持ちが姿勢に現れることを知っていますか。逆に、姿勢があなたの気持ちに反映することはどうですか。心理学の世界で「パワーポーズ」と呼ばれているものを体験的に学びます。これは、ハーバードビジネススクールで生まれた考え方で、自己肯定感を高めると言われています。挑戦してみませんか?	
教授	宮原 育子	観光ビジネスの楽しさ面白さを伝えます	観光は人々に最も人気のある余暇活動の一つですが、この観光を消費者の立場ではなく、事業(ビジネス)をする立場から考えます。観光が社会のどのようなところで役に立っているのか、どのような役割があるのかについて、具体的な事例を紹介しながら理解を深めていきます。観光関係に進路を考えている方に最適です。	観光学 地理学
		ジオパーク —地球と私たちをつなぐまちづくり—	ジオパークは地域の素晴らしい自然や、歴史文化、人々の暮らし、産業を守り、学び、伝える地域資源を活かした総合的なまちづくり手法のひとつです。日本には現在44個所のジオパークがあります。地域の人々が自分たちのジオパークでどのような活動をしているのか、事例を挙げて紹介します。	
教授	姚 国利	私たちの生活と国際貿易	国際貿易というと、ほとんどの方にとって縁遠いものと感じるかもしれませんが。しかし、私たちの日常を見渡すと、国際貿易によってもたらされたものがあふれています。私たちの身のまわりには多くの外国製品、特にアジアで作ったものがたくさんあります。この授業では、実際の商品や写真をお見せして、私たちの日常生活に外国製品が使われていることを知ってもらいます。	経済学
教授	渡部 順一	海外こぼれ話(東アジア編)	研究の過程で国内外様々な地域を訪れています。学術研究以外でも興味深く、行って初めてわかることも多くなっています。今回は、台湾(特に、台北など)で見聞きしたことを写真、映像を交えながら、ビジネスの視点から紹介していきます。	経営学
		デジタル時代の新潮流 -AI(人工知能)が切り開くビジネス新世代-	みなさんは、「デジタルネイティブ」と呼ばれる生まれた時からデジタル機器に囲まれて、スマホのみならずAI(人工知能)やロボットと共創していかなければならない世代です。デジタル技術が未来のビジネスへどのような影響を及ぼすか紹介します。	

講師名		講義タイトル	講義内容	研究分野
教授	渡部 美紀子	財務諸表って何だろう？	損益計算書や貸借対照表は、財務諸表と呼ばれます。難しそうな気がしますが、実はほんの少しの知識でその内容が分かるようになります。これがわかると、会計に関する新聞記事もかなりわかります。色々な会社の財務諸表に触れてみましょう！	会計学
		「お弁当屋さんを開こう！」	「お弁当屋さん」を開業するにあたって、プロダクト・ポートフォリオ・マネジメントの視点から、売り出すお弁当のラインアップを考えてみましょう。また、開業するのに必要な要件は何かについて考えます。グループに分かれて、どこが一番儲かったも競います。	
准教授	永田 貴聖	日本に外国人移住者が増加しているって？今後の社会はどうする？	日本では、ここ数年外国人移住者が増加しています。80年代のフィリピン人の増加にはじまり、最近では街に多くのインド料理店や中国料理店をみるようになりました。また、コンビニでも多くの外国人労働者をみかけます。「島国」と言われていた日本、どんな社会になるべきなのか？	移民研究 文化人類学
		フィリピン人は世界に飛びまわる！！	フィリピンは1000万人近くの移民を世界各地に送り出しています。日本にも26万人のフィリピン人が暮らしています。しかも、フィリピン人は移住先の人びとと交流しながらも、フィリピン人同士の仲間意識を大切にします。身近なフィリピン人、世界のフィリピン人について触れてみましょう！	
准教授	舩井 道晴	AIが拓くビジネスの可能性	近年、AIをはじめとした新しいテクノロジーを活用した商品、サービスが開発されています。実用化が始まった段階ですが、数年先には、様々な形でみなさんの目の前に登場することでしょう。本講義では、これからのビジネスに必要な知識・技術の基礎を解説します。	情報学 経営学
		戦略的思考にチャレンジ！	「戦略的思考」や「論理的思考」。「身に付けておいた方が良いビジネススキルは？」というアンケートで必ず上位にランキングされるこのスキル。ですが、結構苦手としている人もいるのではないのでしょうか？本講義では、「ゲーム理論」「行動経済学」に因んだトピックを通じて、戦略的思考の基礎を学びます。	
助教	佐藤 千洋	経営戦略と組織のお話	企業が成長し、存続していくためには、経営戦略と組織が欠かせません。また、組織の形は戦略によって変わってくることから、経営戦略と組織の関係を考えることは非常に大切なことです。ここでは、経営戦略とは何なのか、組織にはどのような形があるのか、経営戦略と組織の関係性について、実例を交えながらお話します。	経営学
		なぜあの企業は強いのか？	日本の「ものづくり」をしている企業の中には、ほかの企業に比べてとりわけ収益性の高いところがあります。なぜライバル企業よりも高い収益性と競争力を得ることができるのでしょうか。その理由について、開発、生産、販売という企業活動における3つの視点から考えてみましょう。	

講師名		講義タイトル	講義内容	研究分野
教授	石川 隆	切り紙による様々な図形	折り紙を規則的に折って切ることで、花や星などの形を作り出す方法を学びます。	美術・造形
		色の世界(色の組み合わせ)	画面を一定の規則にそって分割色の組み合わせを考えながら着色することによって、抽象的な絵画を製作します。	
		紙工作(蛇腹を使って)	蛇腹折りと言う折り方を利用して子どもが遊べる簡単なおもちゃを製作します。	
教授	磯部 裕子	保育という仕事 ー子どもの発達に関わるとはー	幼稚園の先生や保育所の保育士は、子どもとともに生活し、子どもの遊びを通して教育します。「遊びを通して教育」とは、子どもの遊び相手をするものではありません。「遊び」という体験によって子どもが学び、子ども自身が発達するための支援をするのが保育という仕事です。こうした保育の仕事の具体を紹介しながら、子どもの成長に関わることの意味を講義します。	幼児教育学 保育 カリキュラム論
		世界の保育事情と日本の保育 ー子育てからみた文化論ー	世界のどんな国でも、子どもは大人たちに支えられながら成長していきます。しかし、子育てのあり様は、国によって実にさまざまです。授業では、世界各国の保育事情を紹介し、日本の保育と比較検討してみたいと思います。子育てのあり様から、国の文化を見ることが出来ます。	
教授	西浦 和樹	生活を豊かにする「こころ」の話	日々の生活の中でのコミュニケーションの取り方について、もう一度見つめ直してみましよう。心理学の観点からアドバイスします。	教育心理学
		スウェーデンの教育とくらし	スウェーデンは、ノーベル賞などで有名な発明の国です。スウェーデンで実施した幼児・児童教育研修での視察の様子をご紹介します。	
准教授	伊藤 哲章	KAPLA(カプラ)の世界	カプラはフランス生まれのおもちゃです。オランダ語では、「KAbouter PLAnkjes(こびとの板)」で、その名前のとおり、手のひらにのるほどの薄くて小さな板です。すべて同じ形、同じ大きさの木片をただ積み重ねていくだけです。大人も子どもも夢中にさせるおもちゃです。1枚の板から広がる想像の世界を体験してみましよう。	幼児教育学
准教授	松原 弘子	ボランティア活動入門	日本では、阪神淡路大震災の被災地支援で社会的に大きな注目を集めるようになり、以後、社会の中の様々な場面でその活躍が報じられるようになったボランティア。「自主性」「無償性」「社会性」「責任性」を原則に、身近な清掃活動から、国際紛争地域で活躍する医療ボランティアまで、いろいろなボランティア活動を紹介し、みなさんの「何かやってみたい」気持ちを後押しします。	社会福祉 医療と人権
		AIDSと人権	AIDSを知っていますか？以前に比べて報道されることが少なくなってきましたが、日本国内で感染者・患者が増えている実情は変わっていません。どんな病気か、どのように感染するのかなどの基礎知識から、なぜ患者が差別されるのか、差別の何が問題なのかについて考えてみましよう。	
准教授	守 渉	幼児期の運動遊び	身の回りにあるさまざまな物が遊びへと発展していきます。テレビゲームにはない運動遊びの魅力についてお伝えします。	幼児体育
准教授	兪 幀蘭	家族の発達について	個人が発達するように家族も発達していきます。発達ステージの移行期には家族にとってストレスフルな状態になることもあります。家族の発達や移行期での対処について一緒に考えてみましよう。	家族心理学 臨床心理学
教授	梅田 真理	発達障害のある子どもの理解と支援	発達障害の特徴や、接し方について誰でも知っておいて欲しいことをお伝えします。知っていることが、共に生きることの第一歩です。	特別支援教育 発達障害のある 子どもの教育

講師名		講義タイトル	講義内容	研究分野
教授	今野 孝一	東日本大震災と命を守る防災教育	東日本大震災時に女川町の離島出島(いづしま)で経験したことをもとに、子どもたちの命を守る防災教育はどうあったらいいのかを一緒に考えます。	防災教育
教授	白石 雅一	「障害」「障がい」「障がい」とは何か、を「社会」や「人」との関係から学ぶ	「障がい」は、周囲との関係によって決められていくものです。この関係重視の「障がい論」を具体的に講義します。	子どもの福祉 障害児の療育 心理療法
		自閉症や発達障害をもつ子どもや人の理解と接し方を学ぶ(入門編)	テレビや雑誌、多くの新刊本で目にする事が多くなった、自閉症や発達障害。その実際を知らないし援助も出来ないし、友だちにもなれません。関わりの第一歩をお教えします。	
教授	豊澤 弘伸	「言葉による見方・考え方」を働かせる国語科の学習指導について	「言葉による見方・考え方」を働かせるとはどういうことか。それによって、国語科の授業はどう変わるのか。「見方・考え方」を踏まえた授業の在り方を考察し、国語科の具体的な実践方法を論じます。	国語教育
教授	中込 雄治	多様な考え方を引き出す数学的手法について	基本的な数学の問題をもとにして、多様な考え方を引き出す数学的手法を考察するとともに、多様な考え方を引き出すこと自体の意義、多様な考え方を引き出す数学(算数)教材の開発方法について明らかにします。	算数・数学教育
教授	松本 晴子	人間と音楽のかかわりについて	私たちの生活の中でさまざまな役割を果たしている音楽について、人間の発達に応じた音楽について考えてみましょう。	音楽教育
		長く歌い継がれる子どもの歌の特徴	就学前および児童期の子どもに寄り添う歌の特徴を考えながら、歌って動いて実践してみましょう。	
准教授	板橋 夏樹	世界のさまざまなエネルギー教育	国によって、理科の教育方法・内容は大きく異なります。本講座では、エネルギー教育分野を例に、アメリカやイギリスの教育方法を紹介しつつ、エネルギーについての多彩な実験活動を通して理解を深めます。	理科教育
		ネイチャーゲームの世界	環境教育は座学で学ぶものだけではなくありません。ネイチャーゲームは、様々なアクティビティを通して自然を体感・学習する教育プログラムです。この講座では、実際に幾つかのアクティビティを行うことで、自然のすばらしさに気付くことができるでしょう。	理科教育
教授	清水 禎文	変わる大学、変わる学び ヨーロッパにおける高等教育の大変貌	ヨーロッパでは欧州委員会の主導の下、高等教育(大学)が大きく変貌しつつあります。高等教育機関での学び方も大きく変わろうとしています。ヨーロッパの若者は、今何をどのように学ぼうとしているのか、具体的な事例に基づいてお話します。	比較教育政策
		専門職のキャリア形成	真に専門職となるためには、長いトレーニングが不可欠です。大学を卒業して資格を取得しても、それはキャリアの入り口に立ったにすぎません。長いキャリアを見通して、キャリア形成に必要なものを考えます。	キャリア形成
教授	戸野塚 厚子	他国の教育を「窓」にして日本の教育(学び)を再考してみよう ～比較教育学への誘い～	教育学(カリキュラム開発、比較教育学):「いつでも誰でもただで学べるスウェーデンの学校」、「PISAの学力調査でトップレベルのフィンランドの学校」を紹介します。そして、他の世界、外から日本の教育を眺めてみると、どんな特徴と課題が見えてくるか……、一緒に考えませんか?今年度は、コロナ禍の学校についてもスウェーデンと日本を比較検討をお話してみたいと思います。	教育学
		「共に生きることを学ぶ」って?	教育学(カリキュラム開発、比較教育学):ユネスコの提唱を受けて、多くの国が「共に生きること(共生)」をカリキュラム化しようと挑戦しています。「移民との共生」、「大人と子どもとの共生」、「男女の共生」等、「他者との共生」を考え、葛藤することから何が見えてくるのか……。「共に生きるってどういうことなのか?」、「何のために学ぶのか?」を一緒に考えてみませんか?	

講師名		講義タイトル	講義内容	研究分野
教授	門間 典子	「看護」すること	「看護」とは何かを紹介します。私たちの生活の中にもある看護とはどのようなものか、一緒に考えてみましょう。またナイチンゲールから始まる看護の職業の歴史を振り返りながら、「看護」することについての理解を深めます。	看護学
		職業としての看護師の仕事	職業としての看護師の仕事(命を救う、苦痛緩和、安楽、健康保持増進)とはどのようなものか紹介します。たとえば健康保持増進のための健康教育の一例として、感染対策・コロナウイルス感染症についてなど、具体的な例を取り上げながら紹介します。	
准教授	千葉 久美子	養護教諭(保健室の先生)の仕事とその魅力	将来、養護教諭になりたいと考えている高校生へわかりやすく丁寧に講義を進めていきます。養護教諭の1日の仕事内容や保健室で日々行われている健康相談の活動など、演習を交えながら楽しく紹介いたします。また、「読みたくなる保健だより」を一緒に作成し、最近の健康の話題や情報を養護教諭の目線で学びます。	教育学 (養護実践)
		「災害時における養護教諭の役割」 ～「生きる」こととは～	東日本日本大震災という未曾有の災害時に、養護教諭は生徒のケアにとどまらず、避難所となった学校で多くの住民の命を守る活動を行いました。「命を守る砦」としての役割を担った体験を伝えることで、改めて「生きる」ことの意味を考えてみたいと思います。	教育学 (養護実践)
准教授	村野 敬一郎	子どもの育ち・子育てをどう支えるのか ～就学前の教育・保育のための制度～	「幼保連携型認定こども園」の拡充などを柱とする、質の高い幼児教育・保育の提供、待機児童解消を目指した新しい施策が動き始めています。それらに触れながら、就学前の子どもたちのための教育・保育の在り方について考えます。	教育学
		教育が「人間」を「人間」にする	私たちにとって「教育する」という行動は、身近でごく当たり前のことですが、動物としての人間という観点からみると、特別な意味のある大切な行動なのです。人間にとって「教育する」ことがなぜ大切なのか、その意味を考えます。	
助教	青木 拓巳	ぐっすり眠るためには？ —生活習慣や運動の観点から—	睡眠は、私たちにとってとても身近な現象のひとつです。ぐっすり眠ることは、健やかな日常を送るうえで大切な役割を担っています。この授業では、質の高い睡眠を得るための方法について、生活習慣や運動の観点からご紹介します。	スポーツ健康科学

講師名		講義タイトル	講義内容	研究分野
教授	佐々木 ルリ子	口から食べることの大切さを知る	口から食べることは生きることにつながります。食事はオギャアと生まれてから高齢までのライフステージごとまたは個々人で違います。いつまでも口から食べるためにどのような工夫をしているかを紹介します。	給食経営管理論
教授	星 祐二	食品を科学する	皆さんに身近な食べ物、たとえばマヨネーズはいつ頃、どこで食べられていたの？日本にはいつ頃伝わったの？マヨネーズを作る材料は？そもそも犬猿の仲の水(食酢)と油が混ざってなぜマヨネーズになるの？などなど、普段皆さんがあまり考えないような切り口から食べ物を考えてみましょう。	食品化学
		食べ物のおいしさ - 食感を中心に-	湿気ったお煎餅は美味しくないし、芯のあるご飯もおいしくありません。このように食べ物のおいしさにとって食感はとても大事な要因です。では、寒天ゼリーの食感とゼラチンゼリーの食感を正確に表現できますか？この出前講義では食物の食感(テクスチャー)について考察します。	
		食物の三次機能 - トクホって何-	「血圧の高めななかた向け」の食品や油の吸収を抑えるお茶のCMがTVで流されたり、広告が新聞に掲載されたりしています。そのような食品は「トクホ」と呼ばれるものですが、具体的にどのようなものか知っていますか？そして血圧の上昇を防いだりするのはなぜでしょう。この出前講義では、そのような「トクホ」について考察します。	
		食物とタンパク質 - 栄養素以外の働き-	タンパク質といえば、体の筋肉の材料というように栄養素としての働きをまっさきに思い浮かべることと思います。でも、お豆腐が固まったり、卵白をかき混ぜると泡だってメレンゲになったり、牛乳中で乳脂肪が安定でいられるのも、実はタンパク質の働きです。この出前講義では、タンパク質の知られざる働きについて考察します。	
教授	正木 恭介	痩せたら得する？太ったら得する？	わたしたちの体の素材は例外なく食物だけから供給されています。わたしたちが活動するためのエネルギーも同様です。しかし、食物の摂取が不足した場合には体重が減ります。過剰に摂取し続けた場合には太ります。「太って損すること、得する事。痩せて得する事、損すること。」を概説します。	栄養学
教授	緑川 早苗	健康リスクとヘルスリテラシー	現代は健康に関する情報にあふれています。自分の健康にどんなことがリスクになるのか、どのリスクが大きくてどのリスクが小さいのかを考えたことはありますか？健康情報をどのようにとらえてリスクのトレードオフを行って行くのかを考えます。	臨床医学
教授	矢内 信昭	IgA抗体の働き(免疫学)	IgA抗体は、腸を護る抗体です。どのように作られ、どのように分泌され、どのように使われるのかを解説します。	生化学
		脂肪細胞の働き	私たちの体には、栄養を蓄える組織として脂肪組織がありますが、この組織を構成する脂肪細胞には、脂肪を蓄える以外にも生理活性物質を分泌して、他の組織の働きを調節する作用があることを解説します。	
		腸内細菌と腸の細胞	私たちの腸の細胞には、腸内細菌を認識する仕組みがあり、細菌がいることによって腸の働きを調節することができ、腸内細菌が健康な状態を維持することに大切な役割を果たしていることを解説します。	
准教授	伊藤 佳代子	生活習慣病を予防しよう ～食生活と運動から考えよう～	生活習慣病の現状について理解したうえで、生活習慣病を予防するための、また、重症化しないための食生活と運動の実践について一緒に考えます。	公衆栄養学
		みんなで取り組もう健康づくり	健康的な生活を過ごすために、健康づくりの大切さとポイントを、国や県などの健康づくり計画と併せ解説します。	
准教授	後藤 知子	食欲調節の不思議を探る	おなかがすく(空腹になる)と食べ、おなかがいっぱいになる(満腹になる)と食べ止める、という精巧な食欲調節の不思議を探り、食欲調節の乱れについても考えていきます。	栄養生理学

講師名		講義タイトル	講義内容	研究分野
准教授	丹野 久美子	高校生のためのスポーツ栄養学	競技力を向上させるためには、トレーニングと同様に栄養摂取も重要であることは、今やスポーツ界の常識となりました。では、スポーツ選手は何をどのように食べると良いのでしょうか。もっと強くなるために今すべきことを解説します。	栄養教育論
		高校生の食事の悩みを解決しよう	高校生は食事を自己管理できる半面、欠食やダイエットなどによる食生活の乱れが生じやすい時期でもあります。高校生に多い食生活の問題を取り上げ、どのようにしたら改善できるか、一緒に考えます。	

講師名		講義タイトル	講義内容	研究分野
教授	大久保 尚子	布をいつくしむー江戸の循環型生活文化と現代ファッションー	今日、ファストファッションの一方で、長く愛着をもって服とつきあう「スロー」なスタイルも注目されています。布自体を大切にしている江戸時代の衣生活の意味するもの、現代の古着愛好の背景、流行に「消費」されないデザインを追求するデザイナーたちを紹介し、布や衣服とのつきあい方を考えます。	服飾美学 服飾文化史
		きものと日本の文様	今、海外でもKIMONO展が開かれるなど、きものはグローバルに注目されています。その魅力の大きな要素に、さまざまな意味の込められた文様があります。人気アニメで再び親しまれている「市松」などの幾何学文様にも流行した時代なりのイメージがありました。文様の持つ物語をひもときます。	染織文化史
教授	本間 義規	ゼロエネルギーハウスをつくる	我々が生活するうえで必要とするエネルギーの3分の2は暖房や給湯などの熱利用です。熱の移動メカニズムを理解しつつ、住まいの省エネルギー技術やゼロエネルギーハウスの可能性について講義します。	建築環境学 省エネルギー技術
		住まいと湿度	夏は湿度が高くてムシムシしますし、冬は結露に悩まされます。夏はすぐにカビが生えますが、冬は乾燥して肌が荒れたり静電気が発生しやすくなったりもします。適切な湿度コントロールのための水分移動メカニズムや結露防止手法などについて考えます。	建築設備
教授	安田 直民	家を建てる	家を建てるとはどんな行為でしょうか。建築主がお金を出すことでしょうか。建築士が図面を引くことでしょうか。大工さんが木を刻むことでしょうか。そうしたことを全てが家を建てることです。土地に出会い、建物をイメージし、構造を考え、建物を建設する、「家を建てる」流れを実際の図面や写真で紹介します。	建築設計実務
		素材の話	現代の建物は様々な材料でできています。木、鉄、コンクリート、石膏、ガラス、アルミ、タイル、樹脂、紙、接着剤、ペンキ。こうした多くの材料を適材適所に使うことで建物が出来上がります。自分の身近な建物が何でできているか、なぜその材料が使われているのか。実際の素材に触れながら学んでいきましょう。	建築計画
教授	敵 爽	フィンランドの建築・暮らしとデザイン	森と湖の国・フィンランド。1年間の滞在・生活経験を踏まえて、女性の家事負担を軽減するための実用的なインテリアデザイン、暗く長い冬を楽しむための照明デザイン、そして洗練されたフィンランドの建築デザインを紹介します。	建築計画 環境心理
		少子・高齢化社会の医療・福祉施設のあり方	少子・高齢化社会において、地域でお年寄りの暮らしをサポートするために必要とされること、よい施設を作るために必要とされることなど、事例紹介を交えて一緒に考えてみます。	
准教授	須田 真史	生活と建築のデザイン	建築のデザインとは単に建物をデザインすることではありません。その建物を使う人の生活を考えてデザインする必要があります。様々な制約の中で、施主の要望に応えながら、設計者は建築をどのように設計していくのかをご紹介します。	建築設計論 建築計画
		癒しの環境としての病院建築	誰もがネガティブなイメージを持ち行きたくない建物、それが病院です。建築やインテリアの力でそのイメージを払拭し、人々の健康を支え、高度な医療を提供する病院建築のデザインについて考察します。	環境心理
准教授	藤田 嘉代子	働く女性にとって、仕事と子育ての両立とは？	日本では、子育ての負担が女性に重くのしかかり、男性はあまり家事や育児にかかわっていないことはよく知られています。では、フルタイムで働いている女性はどのように仕事の育児の両立を図っているのでしょうか。また、専業主婦、パートタイムで働いている女性は？どっちがどれくらいいたいへんのか、いろいろな角度から考えてみましょう。	家族社会学 ジェンダー論

講師名		講義タイトル	講義内容	研究分野
教授	九里 順子	近代詩が歩き出す時 —北原白秋の〈感覚〉—	明治期以降の詩、つまり近代詩は時代にふさわしい形式・表現を作り上げるために、詩人たちがいろいろ工夫を重ねてきました。北原白秋もその一人です。「言葉の魔術師」と言われた白秋が繰り出す〈感覚〉世界を読んでいきます。	近代文学
教授	澤邊 裕子	日本語ってどんな言語？ 日本語教師ってどんな仕事？	日本語を母国語としない人に対して日本語を教える日本語教師という職業について、その内容や日本語教師になるために必要な勉強・方法について学びます。また、「は」と「が」の使い方はどう違う？ 「ん」の発音は一つだけ？ など、日本語を他の外国語と比べてどんな特徴があるか見ていきます。日本語について今まで気づけなかったおもしろい発見があるはずです。	日本語教育学
		世界に広がる日本語	海外で日本語を学んでいる人たちはどれくらいいて、どんな理由で学んでいて、どのように勉強しているのか、様々なデータや動画を通して紹介します。外国では日本の大衆文化が人気で、アニメや漫画に興味があって勉強している人たちがたくさんいます。そうした日本文化と日本語学習との関係についても考えていきたいと思います。	
教授	志村 文隆	東北方言の古さと新しさ	東北方言の特徴はどこにあるでしょうか。発音や単語などには、日本語の古語をルーツとする言葉もたくさん含まれています。一方で、「ズーズー弁」とも言われる発音の一部には、日本語の最先端の現象が隠れていたりします。身近な方言の世界から日本語を探る授業です。	日本語学 方言学
		生きた言葉をつかまえる	本や新聞の中から言葉を拾うだけではなく、耳に聞こえる言葉を捉えてみたい。そんな願いをもとに、地域や社会で使われている方言や若者言葉を例に、言葉を調べる方法を伝授します。フィールドワークの楽しさを教室で体験してみましょう。	
教授	千葉 幸一郎	文学と科学技術の接点 —安部公房の短編小説を読む—	高校の国語の教科書には「赤い繭」などが掲載されているので、安部公房(1924-93)の作品は難解だというイメージが強いかもしれませんが。しかし、科学技術を扱った彼の短編小説は高校生のみなさんにも意外と読みやすいと思います。一緒に味読していきましょう。	近代文学
教授	深澤 昌夫	「変化の人」かぐや姫 — その光と影 —	絵本やアニメにもなり、日本人なら誰でも知っている「かぐや姫」。そのかぐや姫は竹取の翁に「変化(へんげ)の人」といわれています。かぐや姫は実際、帝の目の前でばつと「かげ」になったりするのですが、さて、かぐや姫が「かげ」になるとはいったいどういうことでしょうか？	古典文学全般
		「ちはやぶる」和歌を楽しむ — 六歌仙を中心に —	江戸時代の絵師 歌川広重が描いた「六歌仙」の絵を眺めながら、くずし字で書かれた小野小町や在原業平など、平安朝に名高い「六歌仙」の歌を読んでみましょう。	
		わかるかな？ 読めるかな？ — 人文科学のための基本リテラシー・異文化解読ツールとしてのくずし字入門 —	リテラシーとは、簡単にいうと「読み書きそろばん」能力のことですが、これを身につけるのはそう容易ではありません。ここでは遠くて近いもう一つの「日本」を知るために、知っている便利な異文化解読ツールを紹介し、時間が許せば試しに使ってみたいと思います	
		闇の文学、闇の芸能 — 『平家物語』入門 —	生霊・死霊・怨霊・物の怪…。日本の文学と芸能は古来「闇」を見つめてきました。この講座ではラフカディオ・ハーンの「耳なし芳一」から『平家物語』にさかのぼり、決して「無常観」だけではない『平家物語』の魅力の一端を紹介します。	
		不思議の国のカブキ — 超初心者のための歌舞伎入門 —	日本が世界に誇る伝統芸能、歌舞伎。しかし、よく考えると歌舞伎にはさまざまな「???」があります。この講座では歌舞伎超初心者の方皆さんの「歌舞伎ってなに？」という素朴な疑問にお答えします。	
准教授	李 敬淑	映画『君の名は。』は人間の物語ではない?! — 映画分析の入門と新発見 —	2016年8月に公開された映画『君の名は。』は、主人公たちの恋の物語をタイムスリップモチーフと織り交ぜながら展開される物語として広く知られています。しかし、この映画を学問的な観点から分析していくと、ただ「楽しむ対象」として鑑賞した時とは違う新しい発見に出会えます。皆さんと一緒に「映画を分析する」という新鮮な体験を共有してみたいと思います。	日本文化 (映像文化)
助教	菊地 恵太	日本流・漢字の付き合い方	漢字テストなどで苦手な印象のある人も多い「漢字」。中国生まれの漢字に初めて触れた日本人も大変苦労したことでしょう。一方で、日本人は古くから工夫を凝らして、漢字の独自の使い方を編み出していました。漢字を使った日本語の表し方、日本人が作った漢字、漢字の遊びなど、日本人の漢字との付き合い方を読み解き、これからの漢字の使い方について、一緒に考えましょう。	日本語学 (日本語史)

【学芸学部 日本文学科】

講師名		講義タイトル	講義内容	研究分野
助教	小竹 諒	図書館の資料を使ってクイズに回答してみよう	図書館というと本を借りられるところ、というイメージが強いかもしれませんが、実はそれだけではなく本や資料を通じて日常生活や学習、あるいは仕事をする際に必要な情報を得ることができる場所でもあります。図書館の資料を使って様々な情報を探す方法を学び、それを基にクイズの答えを探してみましよう。	図書館情報学
助教	山口 一樹	予言の光源氏 —『源氏物語』の始発—	『源氏物語』において光源氏は様々な女君と恋をしながらも、その一方では社会的な栄華を極めていきます。物語がこうした展開を辿るうえでは、作品の冒頭で布石が打たれていたのではないかとわれています。桐壺巻で光源氏が将来の占いを受ける場面を取り上げ、作品の方法について考えます。	平安文学

講師名		講義タイトル	講義内容	研究分野
教授	ジョン・ウィルトシア	コミュニケーションとは何か	「コミュニケーション能力」という言葉はよくきかれますが、一体それは何を意味するのでしょうか。この講義では、その理解不足によって生じるおかしな英語の例をあげながら、真の「コミュニケーション」に必要な知識や技能について説明します。	児童英語教育
教授	増富 和浩	ことばの構造から探る英文法の世界	受験勉強では、英文法は丸暗記するしかないと思われているかもしれませんが、しかし、ことばが持つ表面からは見えないが、頭の中では意識できる構造に注目すると、ただ決められているだけに思える英文法の裏に面白い規則性が見えてくる。そんなことについて考えてみたいと思います。	英語学
教授	遊佐 典昭	ことばから見る心・脳	私たちがことばを自由に操れるのは、脳内に言語を発生、理解することを可能とする言語知識があるからです。本講義では、英語、日本語を素材として、ことばの不思議を体験しながら、ことばの謎に迫りながら、心・脳の問題を考えたいと思います。	英語学 心理言語学 認知脳科学
		ことばの世界の面白さと不思議さ	何気なく使用している日本語を手がかりに、日本語の特徴、また英語との相違、共通点を考えてみたいと思います。人間の言語知識について学ぶことで、人間の心を解明する言語研究の紹介しながら、言語を研究することの知的興奮を味わいたいと思います。	
		心理言語学と脳科学からみた日本人の英語学習	英語学習に関して多くの議論がなされています。この講義では、心理言語学、第二言語習得論、言語理論、脳科学から日本人の英語学習に関してどのようなことが分かっているのを解説します。	
准教授	田島 優子	アメリカ文学短編作品を読む	19～20世紀のアメリカ文学短編作品を取り上げ、原文の英語を読解していきます。また作家の伝記的事実や執筆当時の社会的背景に照らし合わせながら、作品に対するより重層的な解釈を試みます。	アメリカ文学
助教	酒井 祐輔	英語の詩を読んでみる	短めの英語の詩を読んで、詩人たちが言葉に凝らした工夫について説明していきます。また、文学作品を前にした時おそらく誰もが感じるであろう「どこまで深読みしていいの？」という疑問について考えてみます。	イギリス文学
助教	ジェニファー・グリーン	アメリカ合衆国は本当に1つの国？	アメリカ合衆国は日本の25倍の大きさで、異なる6つの時間帯があり、寒い地域もあれば暑い地域もあり、天候も様々です。さらに、各州には独自の文化があり、人々は様々な生活や法律を持っています。本当に1つの国なのでしょうか？	米国文化
助教	藤崎 さなえ	Critical Thinking (批判的思考) とは何か？	日本人の中に、Why?という質問にうまく答えられない方が多く見受けられます。その原因の一つは、日本語では「理由、え？なんとなく」という、曖昧な答えで納得してもらえらるからです。しかし、英語圏では“No reason”と答えると、“??”という表情をされるケースが多いのです。そうならない様に、私と一緒に Critical Thinking と Logical Thinking (理論的に考える方法) を学習しましょう。	高等教育 英語教育

講師名		講義タイトル	講義内容	研究分野
教授	今林 直樹	絵を見る楽しみ—フランス絵画を中心に—	絵を見るのは楽しい！ 理屈をこねずに絵をみるこそそのものを楽しんでみませんか。フランス絵画を中心にその楽しみの一コマをお話します。	国際関係論
		世界遺産から見る沖縄の歴史と文化	かつては琉球王国として独自の歴史と文化を発展させてきた沖縄。焼失した首里城を含め、斎条御嶽や今帰仁城、座喜味城、勝連城など、世界遺産登録されている史跡を通して沖縄の豊かな歴史と文化についてお話します。	
教授	内山 淳一	伊達政宗が開いた仙台藩の美術	仙台の基礎を築いた伊達政宗。その美意識は、天下統一を果たした豊臣秀吉にならったものでした。政宗が求めた豪壮で華麗な美の世界を、仙台城や瑞巖寺の遺品から探ります。	日本美術史
		江戸の動物は奇想天外	海外との交流が厳しく制限された江戸時代。しかし、象やラクダなど今の動物園でおなじみの動物たちも多くもたらされ、人々の関心の的となっていたのです。残された多くの動物画から、当時の庶民の驚きと感動を見てみましょう。	
教授	大平 聡	1200年前のサラリーマンたち	毎年秋、奈良国立博物館で開催される正倉院展で注目を集めるのが正倉院文書と呼ばれる奈良時代の文書群です。その多くは、経典を写した役所の事務帳簿で、1200年前のサラリーマンたちの日常が垣間見られます。古文書を読み解きながら、奈良時代のサラリーマン生活をのぞいてみます。	日本古代史
		学校日誌から読む日本の歴史	小学校に保存されている資料の中には、貴重な地域・学区の歴史情報が眠っています。特に戦時中の地域の様子がわかることは貴重で、他には得られない情報に満ちています。確かな文字資料をもとに事実を探り当てていく醍醐味を、味わっていただきます。	
		聖徳太子はいなかった！？	日本史上、最も有名な人物のひとり聖徳太子。近年、「聖徳太子はいなかった」という衝撃的研究が相次いで発表されています。「聖徳太子」の名前の問題からその実像に迫り、歴史学の研究方法をお見せしましょう。	
教授	八木 祐子	サリーからみるインドの社会と文化	インドの民族衣装であるサリーや腕輪・化粧からみえる女性の地位や家族関係について紹介します。急速に経済発展する社会で、どのように女性の生活が変わってきたのかについてもとりあげます。映像資料やフィールドワーク体験をまじえて、楽しくお話します。	文化人類学
		旅するインド—北インドの世界遺産	世界遺産の数が、世界で第6位のインド。北インドを中心に、インドの奥深い歴史や文化、世界遺産の魅力や宗教との関わり、隠された知恵などについて、映像資料をもちいながら、わかりやすくお話します。	
		インド・カレーの謎	インドには、「カレーライス」はありません。インドの人々が毎日食べているカレーの謎について、日本のカレーとどう違うのか、香辛料をたっぷり使った本場のインド・カレーの作り方、右手を使っての食べ方だけでなく、カレーの歴史や食文化全体についても、映像資料やフィールドワーク体験をまじえて、楽しくお話します。	
准教授	櫻井 美幸	女性は学校で何を学んできたか？	昔のヨーロッパの女性たちはどんな教科書を使っていたのでしょうか。今の私たちが受けている学校の授業とどう違っていたのでしょうか。中世から近代までのヨーロッパの女子教育史を史料を使って紐解いていきます。	西洋史学
		カレンダーの歴史 —2月はなぜ短い？—	現在、私たちが使っている太陽暦という暦はどのように誕生したのでしょうか。2月だけなぜ短い？7月と8月はなぜ続けて31日までであるの？古代ローマで作られた暦に秘められた数々の秘密を明らかにしていきます。	
		彼女たちはどのように生きたか？—ナチス・ドイツ時代に生きた少女たち—	ナチス政権時のドイツに生きた様々な立場の10代の少女たちの生き方を紹介しながら、ナチス・ドイツとはどのような体制であったか、普通の人々はどのように関わっていたかについて話します。被害者だけでなく、加害者、抵抗者も取り上げます。	

講師名		講義タイトル	講義内容	研究分野
准教授	杉井 信	フィリピンの歴史と文化	日本から距離的には近いが、あまり知られていないフィリピンの伝統文化や現代の庶民文化、先住民の文化などを紹介し、そうした文化がどのような歴史の流れのなかで生まれたか、また歴史的に日本とどのような関係を結んできたかもお話しします。	社会人類学
		熱帯の国フィリピンの避暑地へようこそ	東南アジアのフィリピンは常夏の国ですが、高原都市のバギオは避暑地として大人気です。じつは日本との関わりも100年以上続いているこの都市の、独特の民族的、文化的な環境や歴史の紹介を通して、聞き手のみなさんの東南アジアのイメージをさらに豊かにしたいと思います。	
准教授	高橋 陽一	江戸時代の旅	修学旅行、卒業旅行、新婚旅行…。今日の私たちにとって旅は人生の大きなページです。誰でもどこへでも旅ができる、そんな現代的な大衆旅行の環境が日本で整ったのは近世(江戸時代)です。飛行機も鉄道も自動車もないこの時代に、人々はどのように旅をしたのでしょうか。女性ならではの苦労話も織り交ぜながら、お話しします。	歴史学 日本近世史

講師名		講義タイトル	講義内容	研究分野
学科教員		心理学で何がわかるの？(心理学入門)	心理学の研究例をみながら、心理学ではどのように心をとらえるのか、心理学は私たちの生活とどのように結びついているのか、などについてお話しします。	心理学
教授	大橋 智樹	カウンセリングと心理学の意外な関係とは？	心理学＝カウンセリング。そんなイメージは強いと思います。しかし、臨床心理士の立場からもそのイメージは正しくない。心理学の意外な姿をお話しします。	経営心理学 応用心理学
		人工知能(AI)の発展から心を考える	人工知能(AI)の発展は、ロボットやコンピュータが人間と同じような心をもつことができるか？などの課題を投げかけています。この問題から「心」とはなにか、考えてみましょう。	
		人はなぜミスをしてしまうのか？	ミスをしない人はいません。不注意だから？違います。実は、ミスをしないと人は生きていけないんです。人間とミスの関わりについて、考えてみます。	
教授	木野 和代	人はなぜ感じるのか？(感情心理学入門)	喜び・悲しみ・怒りなどの感情が生じるメカニズムやその働きについてお話しします。これらから、感情コントロールの方法を考えてみましょう。	感情心理学
		怒りのメカニズムと人間関係	怒りはよくない感情として避けられがちです。なぜ私たちは怒りを感じるのでしょうか。自他の怒りについての理解を深め、向き合い方を考えます。	
教授	佐々木 隆之	メロディに隠された秘密？ 音楽認知の心理学	普段何気なく聞いている音楽には、作曲家が仕組んだ秘密がいくつも隠されています。実際の音楽の例を通して認知心理学を紹介します。	音楽認知心理学
		錯覚から考える知覚のメカニズム	錯覚を体験しながら、人間の知覚がどのようなメカニズムによって外の世界を作り上げているのかを理解します。	
		イメージの心理学ー見えているものは確かか？	想像したイメージと目の前に見えているものはどれほど違っているのだろうか。知覚、想像、幻覚などのイメージについて、心理学の視点から考えてみます。	
教授	友野 隆成	血液型とパーソナリティ(性格)は関係あるの？	血液型とパーソナリティ(性格)は、本当に関係があるのでしょうか。血液型性格診断を信じてしまうカラクリをご紹介します。	パーソナリティ心理学 健康心理学
		ストレスってどんなもの？:ストレス対処のコツ	私たちは、日ごろから色々なストレスを経験しています。ストレスを知り、その効果的な対処について考えてみましょう。	
		健康心理学ってどんな学問？	「病は気から」というように、私たちの心と身体には密接な関連があります。病気を予防し、健康の維持増進を目指す健康心理学についてお話しします。	

講師名		講義タイトル	講義内容	研究分野
准教授	森 康浩	周囲の人に流されてしまうのはなぜ？	なぜ、人はルールや他者の主張に従ってしまうのでしょうか。社会心理学の観点からこのなぜについて考えてみましょう。	社会心理学
		環境が人にもたらす影響とは？	私たち人間をとりまく環境として物理的な環境であったり、社会的な環境があります。このような環境が人の心にどのように作用するのかお話しします。	
		社会現象・流行を生み出す心の科学	社会現象や流行は、人の心・行動と密接な関係があります。どのような関係があり、どのような影響をもたらすのか考えてみましょう。	
助教	千葉 陽子	しなやかな心を育むメンタルトレーニング ～アスリートに学ぶ～	自分ならではの「能力発揮と自己管理」はアスリートから学ぶところがたくさんあります。メンタルコントロールの達人といえるアスリートをヒントに、しなやかなメンタルを作るコツをお伝えします。	スポーツ心理学
		パフォーマンス発揮の心理学 ～運動部編～	部活動で「メンタルが弱い」とよく耳にします。生まれつきのものといって諦めないでください。スキルを獲得することによって対処することができます。大事な場面でパフォーマンスを発揮するコツについてお伝えします。	

講師名		講義タイトル	講義内容	研究分野
教授	太田 峰夫	絵画と彫刻からみるベートーヴェン像の変容	作曲家の肖像画を調べていくと、大作曲家について人々が持つイメージが、時間の経過とともに変化してきたのが分かります。この授業ではさまざまなベートーヴェン像を見比べながら、それらが描かれた時代背景について考えていきます。	音楽学
		「贋作」からみる音楽史	音楽史はさまざまな「贋作」を生み出してきました。過去のある一時期に、あやまって新作とみなされた作品を例にして、なにがわれわれの判断をくらせるのか、その原因を考えていきます。	
教授	小山 和彦	作曲にトライ	作曲は難しいものと思われがちですが、実はそんなに難しいものではありません。はじめは楽譜に正確に書けなくてもよいのです。まずは何か音を出すことから始めてみましょう。	作曲 音楽理論
		音楽の今と昔	私たちが、普段聴いているポップス、ロック、歌謡曲などはクラシック音楽などの伝統が何気なくしみこんでいます。そういった事柄を見つけてゆきます。	
教授	船橋 洋介	指揮をしてみよう	指揮とは何か、その役割について実際に指揮を体験しながら、さまざまな音楽の仕事を概観します。	指揮・音楽教育
		クラシック音楽の楽しみ方	指揮者の観点から、音楽を「演奏すること」と「鑑賞すること」の楽しみ方を、作曲家が書いた「楽譜」を通して、映像資料や実演を交えながら掘り下げていきます。	
准教授	井坂 恵	あなたの本当の声って？	誰でもその人にしかない声をもっています。でも多くの人が、自分の声の魅力に気づかないでいます。発声のポイントレッスンにより、自分の声を知り、可能性をひらきましょう。より愉しく歌えるようになるはずです。	声楽
准教授	松山 裕美子	こんなに変わる！君のピアノ伴奏	県内の中学校では校内の合唱コンクールが盛んです。合唱部が盛んな高校もたくさんあります。そのピアノ伴奏が大きく変われたら、合唱全体ももっと飛躍できるはず。そのために、ちょっとしたポイントからアドバイスをしていきます。	ピアノ

講師名		講義タイトル	講義内容	研究分野
教授	大内 典	楽器で探る世界の文化	ピアノ、吹奏楽の楽器、民族楽器―すてきな音楽を生み出す道具ですが、それだけではありません。楽器には、それを生み出した文化の情報がぎっしりつまっています。楽器から人間の活動の豊かさ、深さを探ってみましょう。	音楽学 音楽文化学
		歌声さまざま―声の文化の多様性	澄んだ透明な声は良い声ではない!? 動物を声であやす!? お坊さんは唄で修行する? ―意外に充ちた声の文化の広がり底にあるものを探ります。	
教授	木村 春美	Rainbow War	“Rainbow War”という短編映画をもとに英語技能の育成と共に異文化理解を進めます。異質な他者との出会いは私たちの日常に溢れています。そうした他者とのような関係性を構築していくのかを考えます。	第二言語 習得論 英語教育
		ドラマで英語	気持ちを込めなければ言葉にならないのは日本語も英語も同じです。ドラマ仕立てで感情表現を工夫し、会話を楽しみましょう。役になりきる! これこそ学習のコツです。	
		英語発音で遊ぼう	英語の発音は難しいと思ってしまういませんか? 逆に、英語でのコミュニケーションで、相手に理解してもらえず悲しい思いをしたことはありませんか? 練習なしには上達しませんが、考えすぎて臆病になる必要もありません。楽しみながら英語発音の基礎を学びましょう。	
教授	田中 一裕	虫たちの冬越し	冬の寒さをいかにしてのりきるか。これは温帯で暮らす虫たちにとって避けては通れない問題です。彼らはじつに多様な方法で寒さに耐え、冬を生き抜いています。寒さに耐える仕組みを中心に、虫たちの冬越しの不思議を紹介します。	生理生態学
		ヒトと虫	かつて日本人は世界に名だたる虫好き民族でした。しかし、最近では日本でも虫を嫌う人が多い、といえます。なぜヒトは虫を嫌うのか? ヒトと虫が良い関係を築くことは不可能なのか? アンケート調査の結果をもとに、現代日本人の昆虫観を考察します。	
教授	近松 健	宇宙の科学	太陽系惑星はなぜ多様な姿を見せるのか、太陽の内部をどのように知るのか、夜空に瞬く恒星は私たちとどのような関係にあるのか、ブラックホールは怖い存在なのか、宇宙はどのようにしてはじまったのか。宇宙の基本的なことからについて、これまでどのようなことがわかり、どのような謎が残されているかを紹介します。	物理学
准教授	木口 寛久	英語と世界の音と文字	この講義では、果たしてアルファベットが英語の発音を正確に表しているのかいないのかという問いについて考えていきます。また、それに関連して、世界のいくつかの言語の音と文字を、英語と比べながら紹介します。	英語学 第一言語習得
准教授	栗原 健	イエスのたとえ話	新約聖書に記されているイエスのたとえ話は、当時の人々の宗教常識やものをひっくり返すような要素が数多く含まれています。「なんでやねん!」と驚くことによって、2000年間人々を魅了してきた知恵を学び、新たな視点から現代社会の問題などを考察して行きます。	キリスト教史 ドイツ史
准教授	松本 周	悲しむことと、生きること	私たちはあまりに大きな悲しみに直面すると生きる力を失ってしまいます。けれども、そのような中から人生をもう一度歩み始めるとき、今までより深い意味を持って生きる人生が始まります。人生の先輩たちの生き方から、そのヒントを探っていきます。	悲嘆(グリーフ) ケア
		平和な世界をつくり出すために	平和な世界になってほしい、私たちは皆そう願っています。ところで平和とは単に戦争のない状態ではなく、人々を生きにくくするすべての力がなくなる状態を言います。どのようにしてこの世界に平和を実現できるか、一緒に考えたいと思います。	社会倫理、 平和学